

あけびだより

No. 213

2022年7月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和4年7月



絵画教室

繁田 香 氏

先日、以前あけびを利用されていた方の奥様がお見えになりました。

そのお孫さん(高校3年)が『守られた祖父の人権』と題して作文を書かれたものが文集に掲載されたので、良ければ皆さんで読んでください、とわざわざお持ち下さったのです。

その方(Nさん)は、何かお手伝いがしたいと言って、自転車で来られるくらいの人でした。

作業所に籍を置き、他の仲間と作業をされていましたが、病気が進行し、デイサービスに変わられ、合わせると10年近く利用されていました。亡くなる最後の2年は嚥下状態の悪化により経管栄養注入、吸引なども必要となっていました。昨年お亡くなりになりました。

作文の中には、Nさんが若くしてパーキンソン病を発症し、志半ばで退職、大好きだったお酒もたばこもやめたこと、無念や失望の中「あけび」という場で、同じ病気の仲間と気持ちを共有して元気や希望を取り戻せたこと、普通の介護施設ではなく「あけび」だったからこそ取り戻せた希望があったこと、「あけび」が失意のどん底にいた祖父の、人として生きる人権を守ってくれた施設であったとも書かれていました

また、『介護する側である祖母を守ってくれたともいえます。なぜなら、介護だけに追われず仕事を続けるうえで、世話をしてくれる「あけび」には本当に救われていたと思うからです。介護をする側が介護だけに明け暮れることは、その人の生活の全てが奪われることになると思います』と。

Nさんの最期は、生前の希望通り人工呼吸器などの延命措置はせず、よく頑張ったね、と家族みんなで見送られたそうです

『祖父は大病を患って長年苦しんできたが、命を全うし、人として大切にされていたと感じた。病気だから何もできないと扱わずに、この病気でも出来ることを共に探してくれた「あけび」に、心のつながりを感じた』 『世界中の人々が祖父のように、最後まで人として周りから大切にされ、生き抜くことができるといいな』という言葉で最後は締めくくられていました

この作文を読んで、お孫さんの真っ直ぐな言葉と想いに感動し、Nさんやそのご家族にも私たちの想いが届いていたことを知って胸がいっぱいになりました

あけびは、患者さんのQOL(生活の質・人生の質)が大切であると同時に、介護者のQOLも大切であると考え、家族の方が安心して患者さんを預けていただき、お互いの生活がこころ豊かにおくれるように・・・と願いを込めて設立されました

あけび開所からもうすぐ20年、たくさん利用者さんとそのご家族との出逢いがありました。同じ様な病気でも皆さん症状や置かれている環境は様々で、不安や苦しみは一様ではありません。それでもあけびを利用している少しの間だけは、患者家族お互いが安心して、自分の時間を過ごすことが出来たならそれが今もこれからも、私たちの役目だと考えています (K/K)

認定・NPO法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: info@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび

〒672-8030 姫路市飾磨区阿成植木836-A

TEL 079-262-6708 FAX 079-240-6765

Mail: houkan@akebi.or.jp

訪問介護ステーションあけび

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

Mail: akebi-herupa@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL 079-280-6931 FAX 079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL 079-284-0055 FAX 079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実

★七夕飾り

今年もF様ご家族より、たくさんの七夕飾りが届きました。毎年有難うございます。短冊に願い事を書いたあとは、みんなで恒例の飾り付けです。コロナが早く収束しますように。。。



佐橋蹊子氏



★ルネエ卓球

暑い日でも冷房の効いた涼しい体育館でおもいきり体を動かしています。皆さんもどうぞご参加下さいね。

★お誕生会

今回2回目となるじろりんライブを開催して頂きました。気持ちの入ったギターのエブリディに皆さんおもわず涙ぐまれました。アンコールも含めて14曲熱唱して頂きました。今月は調理のFさん特製、オシャレで涼しげな紫陽花ゼリーも大好評



★体操&レクリエーション

午後から平行棒体操のあと玉落としや物送り、Wiiボーリング、新聞紙相撲、麻雀などなど日替わりでご自分の好きなことをやっています。途中オフが来ても好きなことには頑張れるんですね。新しいことにも挑戦してみてください♪

お出かけ



★お出掛け

今月も暑い中、御座候や円照寺にお出掛けしました。ノウゼンカズラの花言葉は「名誉な女性」「華のある人生」「愛らしい」なんです。ご存じでしたか？来月も暑さに負けずにどんどんお出掛けしましょうね。



中谷恭平氏



★ボランティアさんが裏口に手作りの頑丈で立派な棚を作ってくださいました。これで整理整頓！スッキリできます。有難うございます。

山陽中学トライやるウィーク



コロナ禍により3年ぶりのトライやる。男女2名ずつ山陽中学の生徒さんが来てくれ、皆さん若さを賞ってイキイキした1週間でした。



★お買い物ツアー
近くのスーパーへ久しぶりのお買い物へ行かれ、あれやこれやと品定め。やはり、お買い物はご自分の目で確かめて選びたいですね。



★今月の誕生会は、「御津ハモレット」の皆さまによるハーモニカ演奏でした。懐かしいハーモニカの音色に若かりし頃に流行った曲に、皆さん知らず知らず口ずさみ盛り上がりしました。



◎水曜日の学生さんとの買い物はとても楽しくて、可愛くて孫のいない私にとっては素晴らしい思い出になりました。本当に切手のない贈り物でした。ありがとう…とお礼が言いたいです。、（切手のない贈り物という曲はK様のお亡くなりになったご主人様が、ご生前よくギター演奏された曲です）



★今月の共同作品は、朝顔と風鈴をモチーフにしたちぎり絵です。新聞のカラー紙面を使うと、和紙のような風合いが出て味のある作品に仕上がります。



★七夕飾り今年の笹飾りは、仙台の吹き流しをイメージして作ってみました。短冊に書いた願いが叶いますように！



殿納七恵氏



内田勝子氏

あけびの輪



★久しぶりに「花の寺」芭蕉寺上を訪問しました。90種350株の色とりどりの紫陽花は見事な美しさ。初めて見る品種もたくさんあり皆さん感嘆の声をあげられました。じめじめした梅雨時に優しい気持ちになりました！



★スタットのパーティーが、将棋のボランティアに……。勝敗は五分五分。子供の頃、お父様としていた事を思い出して懐かしかったご様子です。

グループリビングあけびの里

訪問看護ステーションあけび

訪問介護ステーションあけび

訪問看護の診て聴いて

パーキンソン病の患者さんと接する中で、食事の際におせたり、唾液が口の中に貯まりやすくヨダレとして出ている方は少なくないです。

これらの症状は、口のなかや口のまわりにある筋肉の咽頭筋(いんとうきん)の動作が遅くなっているために起こります。口のなかや咽頭筋の働きが弱くなる原因は、パーキンソン病特有の症状である運動にかかわる働きの低下や、お薬による治療の影響が関係していると考えられています。薬や体の事を総合的に看れる看護師が一人一人に合った訓練をしています。嚥下障害で一番怖いのが命に直結する誤嚥です。食べることは、からだに必要な栄養やエネルギーをとるためだけでなく、生活のなかの楽しみの一つでもあります。この楽しみを出来るだけ安全に長く続けられる様に、高砂市民病院の言語聴覚士さんに協力して頂き、嚥下訓練の内容をより充実したものに出来るよう取り組んでいます。先日、VF(嚥下造影検査)を見学させて頂きました。おせはないが、食事が流れず喉に貯まるのを目の当たりにし危機感を再認識しました。パーキンソン病における嚥下障害は、症状が進行してから気づくことも多いため、早い時期から食事の工夫やリハビリをすることが対処法になります。

- ・食事は飲みこみやすい形にする
- ・トロミをつけておく
- ・食事の姿勢に注意する
- ・口の中を綺麗にする
- ・口腔リハビリをする

基本的な事ですが、特に姿勢は日頃から注意しておくことが大切です

哀悼の意

6月4日 里の住人、菊池武明様が享年99歳でお亡くなりになりました。愛するご家族に囲まれ安らかに旅立たれました。菊池様は第2次世界大戦中満州へ渡られ、終戦の翌年無事帰還。戦後は大阪で社会福祉に尽力され、今日の社会福祉士制度の基礎を築かれました。薬害「スモン」に罹ってからは、大阪赤十字看護専門学校の講師を長年にわたってお勤めになりました。2010年、菊池様86歳の時、パソコンを覚えたいとデイサービスあけび利用開始、93歳までお一人暮らし、その後里に入居されました。スモンの神経性疼痛に耐えながら、熱心にパソコンを学び2冊の本を出版され、「あけびの仲間」及び「なかま新聞」の編集。常に新たな課題を自分に課し目標達成のために努力を惜しまない姿は、私たちににとっての生きるお手本でした。また絵画、習字、版画、花、カラオケなどたくさんの趣味に親しまれました。いつも穏やかな表情で、自己に厳しく周りの人に優しく、あけびとあけびの仲間を大切に想ってくださった菊池様。人生は幾つになっても挑戦する事が大切だ!!という事を私たちに教えて下さいました。心から感謝いたします。安らかにお眠りください。(O/K)

お知らせ

パーキンソン病友の会 兵庫県支部姫路ブロック

*7月患者・家族交流会

[日時] 7月17日(日) 13:00~

[場所] あけびの実

[会費] 1家族 500円



福江弘子氏



松下啓子氏

*兵庫県友の会総会

[日時] 7月3日(日) 10:00~ 総会

13:00~ 講演会

[講師] 訪問リハビリ理学療法士

今川敏希先生

[場所] 神戸総合福祉センター

*姫難連 医療講演会・相談会

[日時] 9月4日(日) 13:00~ 講演会

[講師] 滋賀県立総合病院 中馬孝容医師

[場所] 姫路市総合福祉会館

田中美恵子氏
箸探

田中美恵子氏



「卓球クラブ」

7月5日・19日(火)

場所: ルネス花北体育館
持物: 上靴・ラケット

連絡先 (280-6931)

医療相談会

西播磨病院

水田英二先生

日時: 7月 9日 [土]

13:00~ (要申込)

場所: あけびの輪

tel 079-284-0055